

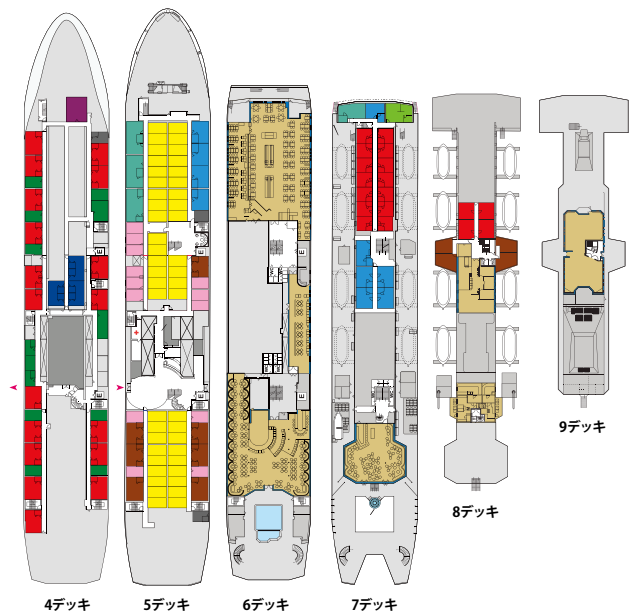
# THE OCEAN ENDEAVOUR



## 客船 オーシャン・エンデバー号

客船タイプ	客船	建造年	1982
最新改装年	2016	総トン数	12,907トン
全長	137m	全幅	21m
乗客定員	198名	乗組員数	124名
客室	132室	ダイニング	24時間
日本語スタッフ	1名乗船	デッキ	6層
メインエンジン	4Skoda Suizer 6ZL40/48 × 4機	プロペラ	ピッチプロペラ × 2
スタビライザー	ジャイロフィン スタビライザー	アイスクラス	1B
運航会社	アドベンチャー・カナダ	船籍	パナマ

## キャビンカテゴリー



## 船内・客室案内



## 北極ツアーに関するQ&A

- ① 気候……寒がりの私でも大丈夫？  
北極圏でも8月は、意外にも暖かく、パフィン島やグリーンランドでも日中は10度以上に上がることもあります。地域により差はありますが、平均気温は6℃～10℃。夜でも太陽はほとんど沈むことがない白夜です。
- ② 服装と装備……どんな服を着たら良い？  
あらゆる天候に対応できるような服装をご準備下さい。服は実用的でカジュアルで動きやすいものをお選び下さい。なお船のドレスコードはカジュアルです。薄めの服を重ね着するのをお勧めします。1日のうちでTシャツからダウンジャケット姿へ、そんな早変わり体験する日も珍しくありません。  
服装リスト 歩きやすいウォーキングシューズ。冬用の下着、靴下。厚めのジャコ、セーター、スボ、ダウンコート。防水ジャンパーとスボン。帽子、手袋、サングラス。
- ③ 食事……美味しい？ 食事制限があっても大丈夫？  
朝食は船内レストランにてブフェスタイル。北の食材を美味しく頂けます。夕食はメニューから選ぶスタイルです。船内の食事は全てクルーズ代金に含まれます。食事制限のある方は事前にお知らせ頂ければ対応できます。船内にはBarもあります。
- ④ お部屋は？ お風呂は？ ランドリーは？  
お部屋のタイプは7タイプあり、それぞれ料金が違います。各部屋にシャワーが付いています。また船内にはサウナやジャグジーもあります。また、簡単な洗濯をオーダー出来ます。お預かりから仕上がりが24時間です。ドライクリーニングは扱っていません。
- ⑤ 医療……具合が悪くったら？年齢制限はある？  
ドクターが乗船していますので心配は要りません。慢性疾患をお持ちの方は出発前に健康質問書への記入が必要となります。船医の判断によっては追加の資料、診断書をお願いすることがあります。過去の参加者の最高年齢はなんと90才。80才以上の方も大勢参加されています。体力に合わせたハイキングコースが選べるなど、年齢関係なく楽しむことができます。
- ⑥ 船酔いする？  
天候が荒れない限り北極の海は比較的穏やかです。船酔いは最初の2日間が酔い易く、その後症状は治まる傾向にあります。心配な方は酔い止めの薬をご持参下さい。
- ⑦ 英語ができなくても大丈夫？  
お客様の3分の2は、カナダをはじめ欧米の方、そして3分の1は日本の方となる予定ですので、船内では国際交流も楽しんで頂けます。添乗員やアドベンチャーカナダの日本語スタッフも乗船していますので、言葉のストレスを感じることなく旅を満喫していただけます。

- 旅行条件 [ツアーコード:FP0066]  
◆最少催行人員/10名様 ◆添乗員/同行します  
◆利用予定航空会社/エアカナダ、アドベンチャーカナダによるチャーター機 ◆座席クラス/エコノミークラス  
◆食事/朝食11回、昼食11回、夕食11回(機内食除く)  
◆利用予定ホテル/<トロント>シェラトンゲートウェイ、トロントエアポート <オタワ>フェアモントシャトルーローエ

- 《代金に含まれるもの》  
日程表内記載の航空・船舶等輸送機関の運賃(各利用等級による/変更不可)・宿泊料金(2人1部屋使用)・食料金・船内でのセミナーおよびレクチャー参加費・乗船中の観光(ゾディアックボート含む)・ガイド料  
《ご注意とご案内》  
・現地及び運送機関の事情などにより、やむを得ず日程を変更する場合がございます。  
・ツアー代金とともに、燃油サーチャージ、日本の空港施設使用料及び現地出国税・空港税等(合計約15,000円)を代行受領させていただきます。  
・カナダeTA(電子渡航認証)取得代行ご希望の場合は渡航手続き代行料金が別途必要となります。  
・航海中は、より野生動物との遭遇を高める為にパフィン島南部から北部へと航路変更の場合もございます。  
・やむを得ず同行予定者が変更となる場合がございます。

## 募成型企画旅行・旅行条件(要約)

- 募集型企画旅行:このご旅行は、(株)フィンコーポレーション(東京都港区芝5-13-18いちご三田ビル9F 観光庁長官登録旅行業第1394号、以下、「当社」といいます。)が募集する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行規約(以下「旅行規約」といいます。)を締結することになります。旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終旅行日程表と称する確定書面及び当社旅行規約募集型企画旅行規約の部によります。
  - お申し込み方法と契約の成立時期:当社所定の申込書に下記の申込金を添えてお申し込みください。申込金は旅行代金のお支払いの差引引かせていただきます。電話、郵便、FAXその他他通信手段でお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払いをしていただきます。旅行規約は、当社が予約の承諾をし、申込金を受領したときに成立いたします。
  - 申込金  
本ツアーのお申込金は旅行代金の20%となります。
  - 旅行代金のお支払い:旅行代金は、旅行開始日の前日からさかのぼって21日目に当たる日より前に(お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日までに)お支払いください。
  - 取消料:旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、以下の取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行規約を解除することができます。表でいう「契約解除の日」とはお客様が当社の営業日・営業時間内に解除する旨をお申し出いただいた時を基準とします。
- | 契約解除の日          | 取消料      |
|-----------------|----------|
| 旅行開始日 121日前まで   | 60,000円  |
| の前日から起算してさかのぼって | 旅行代金の50% |
| 90日前〜当日         | 旅行代金の80% |
| 旅行開始後又は無連絡不参加   | 100%     |

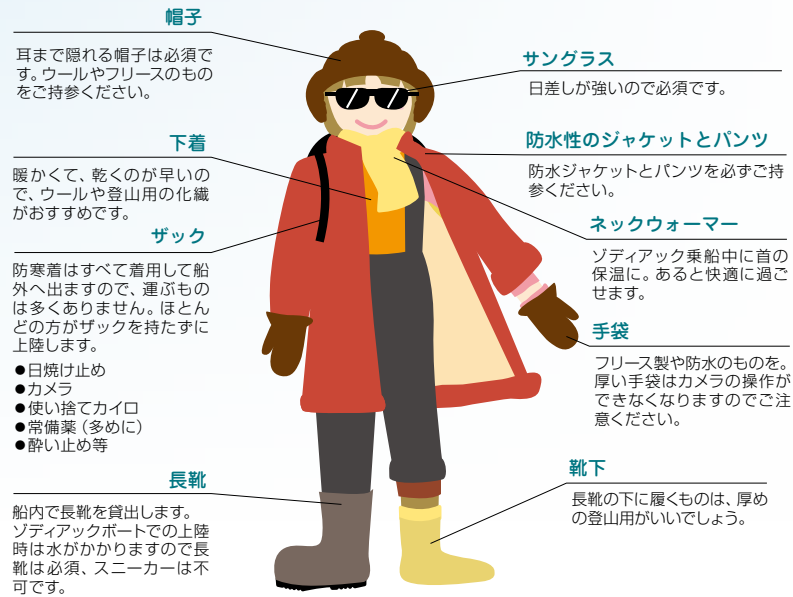
## お申し込み・お問い合わせ

**北欧旅行 ファンツァー**  
03-3456-3933  
Fax/03-3456-3922 E-mail/rsv@nordic.co.jp

営業日:平日9:30~18:00 第1・3土9:30~12:00(電話のみ) 12:00~17:00(事前予約優先)  
イベント開催、旅行説明会、土曜旅行相談会開催日等の最新情報はウェブをご覧ください。

最新情報は <https://www.nordic.co.jp/>

twitter <https://twitter.com/finntour/> facebook <https://www.facebook.com/finntour>



に表示がないときは、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。\*旅行日程に含まれる送迎バス等の代金空港・駅・埠頭と宿泊場所/旅行日程に「お客様負担」と表記している場合を除きます。\*旅行日程に明示した観光の代金(バス料金・ガイド料金・入場料)。\*旅行日程に明示した宿泊の代金及び税・サービス料金(パンフレット等に特別の記載がない限り2人部屋に2名様の宿泊を基準とします)。\*旅行日程に明示した食料の代金及び税、サービス料金。\*航空機による荷物の運送料(お1人様スーツケース1個。\*航空機で運送の場合はお1人様23kgが原則となっておりますが、ご利用の等級によって異なりますので詳しくは係員にお尋ねください。なお、手荷物の運送は当該利用運送機関が行い、当社は運送機関への運送委託手続きを代行するものです。\*添乗員同行コースの添乗員費用。\*添乗員同行コースの場合の団体行動中のチップ。これらの費用はお客様のご都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●超過手荷物料金(特定の重量、容量、個数を超える分について)。  
\*クリーニング代、電報電話料、ホテルのボーイ、メイド等に対する心付けその他の追加料金等、個人的性質の諸費用及びそれに伴う税、サービス料。\*観光手配関係費用(旅券印紙代、査証料、予防接種料金、渡航手続代行料)。\*ご希望者のみご参加されるオプションツアー(別添料金の小旅行)の代金。\*お1人部屋を使用される場合の追加料金。\*空港・ホテル・駅・港までの送迎料。\*任意の旅行傷害保険料 \*日本国内の空港施設使用料。\*日本国内における自費から発着空港集合、解散地点までの交通費、及び旅行開始日の前日、旅行終了日当日等の宿泊費。\*旅行日程中の空港送迎等(日本国内通称を含む)。この旅行代金は2016年11月1日現在有効なものとして公示されている運賃・規則又は、認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

●その他:(1)旅行代金はおひとり分を表示しています。(2)当社はかかる場合も旅行の再実施はいたしません。(3)当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名をご記入される際には、ご旅行に使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。お

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第1394号  
**株式会社 フィンコーポレーション**  
〒108-0014 東京都港区芝5-13-18 いちご三田ビル9F  
(社)日本旅行業協会正会員 総合旅行業務取扱管理者 遠藤 郁子

旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がありましたら、ご連絡なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。ボンド保証金とはボンド保証制度に加入している旅行会社、旅行業協会の併済業務保証金にプラスしてボンド保証金が旅行者へ保証されます。



～北極の野生動物と地球の原点をみつめて～

# グリーンランド～カナダ 感動の旅 北極圏クルーズ 15日間

知的好奇心を満たす冒険の旅へ

2017年7月29日(土)～8月12日(土)

旅行代金 1,480,000円～2,680,000円 ※燃油サーチャージ別途

C.W. ニコル氏が同行!

ニコル氏が自然を守る心の原点となった場所へ  
クルーズ中は解説やレクチャーを予定、  
様々な想いを語り合しましょう。

写真家 中村 恵美氏も同行!

厳しい自然環境の中で懸命に生きる  
動物達の姿と極地の絶景を撮影、  
フォトレクチャーも。



## おすすめポイント

- 野生動物との遭遇、極北の自然と共生するイヌイットの生活文化を見聞
- 北極海の特異な航海に適した『オーシャン・エンデバー号』で快適なクルーズ
- 北極圏の8月は太陽の沈まない白夜、平均気温も6℃～10℃
- 北極の海は比較的穏やか、ドクターが乗船、船酔いや医療も安心



旅行代金の一部を、北極の野生動物と自然共生型社会づくりに寄与することを目的に、北極圏環境保護寄付金とアフアの森財団に寄付させていただきます。





巨大フィヨルドの壮大な風景、崩れ落ちる氷山、氷塊の浮かぶ海、ホッキョクグマ、セイウチ、ホッキョククジラ、イッカクなどの野生動物を探しながら、北の民イヌイットの生活文化に触れていきます。日頃、遠い存在と感じている北極は、私達が放出するCo2による地球温暖化の影響を最も受けている地と言われています。その影響は、海水域の減少にとどまらず動植物や人間社会を含めた極めて広い範囲に及んでいます。同じ地球に住むものとして、荘厳な地球の鼓動を肌で感じ、現状を知り、先住民イヌイットの知恵に深く学ぶ。C.W. ニコル氏が日本のみなさんに熱いメッセージを込めて語りかけてくれる特別な旅。17才から北極の自然に魅せられて15回にわたる北極探検の経験を持つニコル氏。大自然のすばらしさと、厳しい自然と共に生きるイヌイットから“自然との共存”の原点を学んだ特別な場所へ。船内ではニコル氏をはじめ、写真家・中村恵美氏、経験豊富な極地ガイドなどそれぞれの専門スタッフによるセミナーやレクチャーをご用意し、あらゆる年代の方でも安心して快適に大自然を堪能することができるよう準備してお待ちしています。心ふるえる生涯の記憶に残る出会いがそこにあることでしょう。

## ～北極の野生動物と地球の原点をみつめて～ グリーンランド～カナダ 北極圏クルーズ 15日間

### 2017年7月29日(土)～8月12日(土) C.W.ニコル氏同行!

スケジュール/宿泊地	
1	7/29 (土) 羽田発(17:40)→トロント(16:40) 空路、エアカナダ直行便にてトロントへ。着後ホテルへご案内いたします。 (トロント泊)□□
2	7/30 (日) トロント(早朝)→カンゲルルススアーク(午後) チャーター機にて、今回のクルーズの始点グリーンランドのカンゲルルススアークへ。世界でも有効の長さを誇るフィヨルドを抜け、北極圏のアドベンチャークルーズに出港します。 (船内泊)□□
3	7/31 (月) シシミウト グリーンランドで2番目に大きな町シシミウトでは4500年以上にわたり人類と自然が共存してきたイヌイットの生活文化を垣間見ることができそうです。深遠で不凍なフィヨルドの入り江はクジラやアザラシなど海洋哺乳動物の宝庫です。 (船内泊)■□
4	8/1 (火) イルリサット 氷山を意味する世界遺産の町イルリサットでは、世界でも最も活発に前進し海へと崩れ落ちる氷河を見学します。氷塊の海を眺めながら上陸、丘の上からカラフルな町並みや氷山の眺めもお楽しみください。 (船内泊)■□
5	8/2 (水) ウーマナク 晴天率が高く古来よりイヌイットの文化が栄えた地、海から突き出した岩山に民家が張り付くように建つ島の絶景、イヌイットのルーツが発掘された場所でもあります。 (船内泊)■□
6	8/3 (木) カラットフィヨルド グリーンランドで最も美しいフィヨルドの景観、そして海洋生物がご覧いただける場所です。アザラシ、ヒメウミスズメなどの海鳥のコロニー、撮影にも絶好のポイントです。 (船内泊)■□
7	8/4 (金) キキクタルジュアク(プロトーン アイランド) グリーンランドからカナダへ。イヌイット自治準州ヌナブトのキキクタルジュアクは、冷戦期にソ連からの防衛を目的にDEWラインが設置された地。友好的な住民との交流やイヌイットの芸術や文化をご覧ください。 (船内泊)■□
8	8/5 (土) ノースイーストバフィン バフィン島北東のフィヨルド地域を2日にわたり航行します。大型船では近づけないフィヨルド沿いの狭い入り江などもオーシャン・エンデバー号なら十分満喫できます。 (船内泊)■□
9	8/6 (日) ノースイーストバフィン 天候や氷の状態を見ながらバフィン島北東のフィヨルド地域を航行します。北極の海に精通した熟練クルーにお任せください。 (船内泊)■□
10	8/7 (月) ミティマタリク(ポンド インレット) 北極東部で最も美しい村、イヌイットの文化紹介や交流をお楽しみいただけます。海洋哺乳動物の宝庫でもあり、珍しいイッカクとの遭遇チャンスも。 (船内泊)■□
11	8/8 (火) ランカスターサウンド 白イルカの生息地として有名なランカスターサウンドを訪れます。 (船内泊)■□
12	8/9 (水) プリンス・レオポルド島&ビーチャー島 プリンス・レオポルド島の切り立った断崖は、ハシブロウミガラス、ミツコピカモメ、フルマカモメ、シロカモメ、ハシロウミバトなど多くの海鳥の繁殖地となっています。19世紀半ば、ジョン・フランクリン氏率いる129名の英国遠征隊が北極圏探検の途中で遭難、数年後の捜索でビーチャー島を訪れた形跡を発見したが生存者はなく、現在はお墓と記念碑が海を向いて立っています。 (船内泊)■□
13	8/10 (木) クアーストック(レズリュート)(午後)→オタワ(夜) 日の沈まぬ地であるクアーストックでは、4/29～8/13太陽が地平線から姿を消すことはありません。私たちの北極圏の冒険クルーズは、イヌイット文化が長く栄えたこの人口約200人の小さな村で下船となります。下船後は、チャーター機でオタワへと向かいます。 (オタワ泊)■□
14	8/11 (金) オタワ(10:00)→トロント(11:05/13:35)→エアカナダにて空路トロント乗り継ぎ、ご帰国の途へ。 (機内泊)□□
15	8/12 (土) →羽田着(15:35) □

※上記スケジュールは現地事情や荒天などの事由により変更となる場合がございます。

カテゴリー	客室タイプ	旅行代金(円)	広さ(約)	デッキ	
1	4人部屋	1,480,000	22.5㎡	4	
2	3人部屋	1,590,000	18㎡	4	
3	2人部屋	内側	1,740,000	11.6㎡	5
4		ベーシック	1,880,000	11.6㎡	4
5		メイン	2,010,000	11.6㎡	5
6		コンフォート	2,140,000	12.5～16㎡	4,7,8
7		セレクト	2,270,000	13.5～17㎡	5,8
8		スーベリア	2,410,000	17～19.5㎡	5,7
9		ジュニアスイート	2,550,000	25～27㎡	5,7
10		スイート	2,680,000	29㎡	7

※燃油サーチャージ別途(裏面の旅行条件参照)



**オーシャン・エンデバー号での快適な洋上の旅を**  
北極海などの特殊な環境下での航海を目的に造られた客船「オーシャンエンデバー号」でのクルーズをお楽しみください。  
このツアーは、日本で森を甦らせることを決意したニコル氏が理事を務める『アフアの森財団』、27年間に渡り北極のクルーズを提供する『アドベンチャーカナダ』、創業34年北欧の旅専門の『北欧旅行フィンツアー』の3社コラボレーションによる北極圏へのスペシャルプログラムです。

**極地を得意とする写真家、中村恵美氏も同行**  
クルーズ中は動植物や風景の撮影アドバイスや写真教室も開催予定です



**中村 恵美** <写真家>  
東京生まれ。初めて撮影に、フィールドへ出たのが、1998年の秋。ノルウェーのロフォーテン諸島にて、野生のシャチと出逢う。以降、野生動物や自然界に魅せられ、極地をはじめ、南米、熱帯雨林、無人島など、国内外各地へ出かけ、地球と動物をテーマに、現在フリーで撮影活動を実施。

<http://www.eminakamura.jp>



◆アドベンチャーカナダで行く北極◆

## THE ARCTIC WITH ADVENTURE CANADA

私は12歳の時、グリーンランドのイヌイットの暮らしを描いた白黒のドキュメンタリーを見た時から北極探検家になることを決意していました。当時は1952年ですから、かなり困難な夢にも思いましたが私は諦めませんでした。

当時見つけられる全ての北極(南極も)探検家の本は読み込みました。しかもイギリスの図書館システムはとても優秀で膨大な冊数を取り寄せることが出来ました。

当時、大人で唯一極地の話しが出来たのは(怒られたり無視されたりしないで)、私の生物学の先生のピータードライバー師だけでした。

私から繰り返し聞かされる自然の宝庫であり、何千年も前にアジアから渡ってきて生き残っているだけではなく、世界でも類を見ないユニークな文化を育み、戦争の無い社会を作られたイヌイットと北極の話はピーター先生の中で少なからず影響を及ぼしたのかもしれませんが。何故ならその後、彼はイギリスでの教職を辞め、カーネギー奨学金を得てカナダのマックギル大学での博士課程に入学したのです。彼のフィールドワークの現場は北極です、そして彼は助手を必要としていました、誰が彼の頭に浮かんだでしょう、当然、私です!

私は12歳の時から身体を鍛える様に心がけ、ロープワークを学び、カヤックやアウトドアサバイバル、猟銃の取り扱い、地図の読み方といった探検家に少しでも近づける術を身に付けていました。

1958年の4月に私はモントリオールに向かう船に乗船し、ピーター先生より一足早く北極へと向かいました。彼との3ヶ月の滞在の後は私が最も尊敬する民族、イヌイットの方々と過ごしました。最初の出会いから恋をしてしまったかの如く愛おしい人々で、またナイーブな英国青年に対しても優しく、協力的でした。私の最初のイヌイット語での名前は「微笑む少年」という意味でした。

以降私は最も長期間の探検としてデボン島(1961年4月～1962年10月)を含めて、15回に及ぶ長期探検に向かいました。短い旅も数多く致しました。

北極、とりわけカナダ北極は今も私を感動させてくれます。

その中で最も快適な北極の旅は私が75歳の誕生日を迎える時に、初めてのカナダ探検の出発地と同じ、ケベック州北部クージュアックから始まりました。これがアドベンチャーカナダに初めて参加した時で、とても楽しかっただけでなく、快適でありながらも十分に探検気分を味わえ、共に旅するにはこれ以上素晴らしい人はいないと思える乗客とスタッフに囲まれた旅でした。食事、ワインも素晴らしく食卓を囲むのは興味深い、または興味津々でフレンドリーな乗客との時間は本当に素晴らしい一時でした。

地球の温暖化、気候変動は北極の地に大きな影響と明らかな変化をもたらしています。もしかすると世界で最も大きな変化が最も早く発生している自然の大地かもしれません。アドベンチャーカナダはその様な変化を生で体験する機会を与えるだけでなく、影響を受けているイヌイットの人から直接話を聞く機会も用意してくれています。私は彼らから教わることは日本のため、日本人のためにも同じ位に大切だと思っています。

是非一緒にしませんか。あなたは息を飲む体験をするでしょう、沢山の友人も出来るでしょう。そして共に本当の意味で21世紀はこの惑星を皆で共有する時代が来たと感じるでしょう。

C.W.Nicol  
長野県、黒姫  
9/26, 2016

**C.W. ニコル**  
<作家、ナチュラリスト>  
1940年英国南ウェールズ生まれ。カナダ水産調査局北極生物研究所の技官・環境局の環境問題緊急対策官やエチオピアのシミアン山岳国立公園の公園長など世界各地で環境保護活動を行う。1980年から長野県黒姫在住。2005年英国エリザベス女王陛下より名誉大英勲章を賜る。北極圏はC.W.ニコルが自然を守る原点となった場所でもある。